

平成 30 年度 前学期  
お茶の水女子大学 生活科学部 特別設置科目のご案内  
(ECCELL 社会人プログラム)

【前学期】

不定期開講：子ども学ゼミⅤ (1 単位)

不定期開講：子ども学研究法Ⅲ (1 単位)

子ども学ゼミⅤ (科目コード 1800166) 1 単位

不定期開講授業 4 月 21 日(土)、5 月 19 日(土)、6 月 2 日(土)、7 月 28 日(土)

教室 本館 3 階 344 共同研究室 (予定)

担当 浜口 順子 (お茶の水女子大学)

**主題と目標**

雑誌『幼児の教育』の講読を行う。同誌は、1901 年に『婦人と子ども』という誌名で現職保育者と研究者による研究会の機関誌として創刊されて以来、現在まで刊行される雑誌で、現職者や学識者、保護者や他領域の専門家にいたる多様な執筆者による、各時代の幼児教育・保育に関する論考が掲載されている。受講者の関心や研究テーマを反映させて、バックナンバーから記事を選択し、共同して読み討議することを通して、子どもや教育への理解を深めることを目的とする。

**受講条件・その注意**

特になし。

**授業の形態**

講義  討論  講読  実験  実習  実技  発表  演習

**教科書・参考図書**

雑誌『婦人と子ども』(1901～1918)、『幼児教育』(1919～1923)『幼児の教育』(1923～) \*バックナンバーを検索可能。

URL: <http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/handle/10083/52377>

**評価方法・評価割合**

- 期末試験 (割合: %)  
 口頭試問 (割合: %)  
 中間試験 (割合: %)  
 小論文 (レポート) (割合: %)  
 出席 (割合: %)  
 実習成果 (割合: %)  
 発表 (割合: %)  
 その他 (割合: %) 授業への参加態度

### 授業計画

日程（変わることがあります）：下のように回毎に区切ることはできないが、カバーしたい内容の概要は下記のとおり。

- 4 月 21 日（土）・・・明治以降の日本の幼児教育の流れの中に『幼児の教育』誌を位置づける
- 5 月 19 日（土）・・・明治期の保育者の記事を読む
- 6 月 2 日（土）・・・大正期の倉橋惣三の保育思想形成を考える
- 7 月 28 日（土）・・・受講者それぞれの関心から雑誌記事を選び、相互に発表する（まとめ）

時間 9：30～12：30（10分休憩含む）

教室 共同研究室【本館3階344】（予定）

### 時間外学習

課題文献を読み、考えをまとめる。また関心のある記事をバックナンバー検索する。

### 学生へのメッセージ

具体的な雑誌の記事にあたりながら、現代の保育の問題、子どもの在り方について、日本の戦前から戦後の幼児教育思想を辿りつつ考えていきます。学部生も受講できますし、科目等履修の、外部からの保育関係者の受講者も多いので、ディスカッション自体から多くの学びがあると思います。

### 学生の問い合わせ先

nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp

子ども学研究法Ⅲ（科目コード 1800170） 1 単位

不定期開講授業 4 月 21 日(土)、5 月 19 日(土)、6 月 23 日(土)、7 月 28 日(土)

教室 本館 1 階 127（予定）

担当：松島 のり子（お茶の水女子大学）

### 主題と目標

主題：子どもや保育、幼児教育をめぐる課題に関して、歴史的な観点からアプローチする研究方法を実践的に学ぶ。

目標：各自の問題関心に即してテーマを立て、そのテーマに関する歴史を、資料に基づき明らかにする。その際、時代背景や社会情勢等も含めて資料を読み解き、歴史を描き出すことをめざす。

### 受講条件・その注意

特になし。

### 授業の形態

■講義 ■討論 □講読 □実験 □実習 □実技 ■発表 ■演習

### 教科書・参考図書

参考図書は適宜紹介する。また、必要に応じてレジュメや資料を配付する。

### 評価方法・評価割合

- |                                    |           |             |
|------------------------------------|-----------|-------------|
| <input type="checkbox"/> 期末試験      | （割合： %）   |             |
| <input type="checkbox"/> 口頭試問      | （割合： %）   |             |
| <input type="checkbox"/> 中間試験      | （割合： %）   |             |
| <input type="checkbox"/> 小論文（レポート） | （割合： %）   |             |
| <input type="checkbox"/> 出席        | （割合： %）   |             |
| <input type="checkbox"/> 実習成果      | （割合： %）   |             |
| ■ 発表                               | （割合： 60%） |             |
| ■ その他                              | （割合： 40%） | 授業や討論への参加状況 |

### 授業計画

4 月 21 日（土） ①13:20-14:50、②15:00-16:30

オリエンテーション、歴史研究について、テーマの検討

5 月 19 日（土） ③13:20-14:50、④15:00-16:30

資料調査について（資料を探す）、資料分析について（資料を読む）

6 月 23 日（土） ⑤13:20-14:50、⑥15:00-16:30

中間報告会・討論、研究成果のまとめ方

7 月 28 日（土） ⑦13:20-14:50、⑧15:00-15:45

最終報告会・討論、まとめ

### 時間外学習

次回までの準備やテーマ探究のために、文献や資料を調べ、読む。

### 学生へのメッセージ

歴史を紐解くと、思いがけない発見にめぐり逢うかもしれません。授業では、各自の関心に即して、それぞれのテーマに関する歴史をたどる作業を行います。資料に即して検討することに取り組み、そのプロセスを大切にしたいと思っています。

### 学生の問い合わせ先

nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp